

新市長の舵取りは

質問

雀ヶ森処分場問題は廃止手続きがストップしたままであったが、担当部長の前向きな発言が報道された。

ごみを外部に撤去などを検討するとされているが、その後どのように進展したのか。一日も早い処分場の廃止を目指したいとあるが、現状は。

市民生活部長

雀ヶ森処分場は改めて、県に廃止に向け指導・協力をお願いしている。

質問

愛西市顧問弁護士との逮捕に市としての対処を聞きたい。

市長

この件については、皆様方にご心配を掛けて申し訳なく、5月31日付で契約を解除。現在、県の弁護士会へ新たな顧問弁護士の紹介の手続きを進めている。

質問

新聞紙上をにぎわしていた新庁舎問題は、市民も関心が深く固唾をのんで新市長の示唆を待っている。



石崎たか子 議員

合併時の禍根を庁舎問題で、将来的にも市民に大きな不満として残さないためにも新庁舎建設を続行することとし、ここで一度立ち止まって再検討する勇気を市長は持つていないか。

市長

庁舎の件は進めるべきという決断を持って進んでいる。

質問

内閣府が南海トラフ巨大地震対策の最終報告を出した。海抜ゼロメートル以下、液状化地区の避難所を含めた防災を市長はどう取り組むか。

市長

市は海抜ゼロメートル地域で液状化するという認識は持っている。その中で私どもでやれることには限りがある。市民にも自らの命は自ら守るということを基本にして、ともに防災意識を高めていきたい。

質問

合併時より問題提起していた行政区の確立について、前

市長は大字が行政区との認識から、合併後も旧態依然としている。

10軒や40軒でも一人の総代、飛島村と同じ人口の大井町の格差・差別を市長はどう考えるか。

市長

いろいろ地域の実情があるのは承知しているが、まず、現状で進めてもらうのがいい。

質問

永和駅前開発や永和台道路舗装問題を要望した方に、市長は「自分の目でまず見て議会に諮り、市民の皆さんと決めていく」と発言した。今後の発展の考えは。

市長

市の全体を考えてどの様なまちづくりをしていくのか、現時点ではまだ判断していない。



市役所増築棟の完成イメージ図